

—今号の内容—

- I 第13回惠泉塾友の会全国大会
- II 教育講演会開かれる!
- III 友の会会員だより  
発達障害学習会
- IV 惠泉塾のお知らせ  
最近の沖縄惠泉塾  
関東の惠泉塾若者活性化の会  
余市惠泉塾「若者の集い」報告
- V ヴィタポートからのお知らせ  
大連日本商品展示会  
いわきマリアの今  
「どんぐり作品展」
- VI お助け隊  
余市惠泉塾への物資援助
- VII 若者の集い IN 都賀
- VIII 水谷幹夫先生伝道旅行日程

I 第13回惠泉塾友の会全国大会

「初心に帰れ」をテーマに

友の会会長 保坂公平

友の会会員の皆様には、いつも惠泉塾とヴィタポートをご支援いただき、心から感謝致します。今年2月、惠泉塾友の会全国大会が未曾有の大雪の中で行なわれましたことは皆様の記憶に新しいことと思いますが、もう次の大会のお知らせをする時期となりました。今回も前年度と同様に沢山の皆様の参加をいただけるように願っています。

大会の日程は2015年1月30日(金)から2月1日(日)、会場は第9回から連続して今回も富士山の裾野の「富士教育研修所」になりました。日程を例年より少し早めて1月後半からに決めたのは、過去の例からこの時期の方が雪の降る確率が低いという理由ですが、この変更により余市の方々には、年末から年始にかけて総会の資料作成などに大変忙しくなることをお詫び致します。

第13回大会の主題テーマは「初心に帰れ」と決まりました。全国大会への参加で皆様方が信仰の初心に立ち帰る機会となり、また会員相互の親睦を深めていただければ幸いです。また、プログラムのスタイルは前回は踏襲した形式となりました。朝のデボーションは水谷幹夫先生が司会進行役を行なってくださり、講話は、第一日目瓜生正彦先生、第二日目は新谷国義先生、最終日の礼拝では木下肇先生が担当して下さいます。証言者を今井恵さん、舟山れいさん、佐渡山ルミ子さん、柳澤みちるさん、三反崎あゆみさん、そして門田典子さんが引き受けて下さいました。前回は初めて企画した「若人の集い」は、今回も行ないますので是非若い方々の結集をお願い致します。

II 教育講演会開かれる!

講演「クラーク、内村鑑三、新渡戸稲造の教育魂」

友の会・教育講演会担当 松井康男

11月9日(日)、午後2時から、都賀プラザ5階のオリブ山教会で、惠泉塾友の会主催の教育講演会が行なわれた。講師は北大総長山口佳三(けいぞう)先生と水谷幹夫先生の二人。主題テーマは、「W.S. クラーク、内村鑑三、新渡戸稲造の教育魂—21世紀の日本に不可欠なもの」である。

参加者は惠泉塾以外の方が40名以上、惠泉塾とオリブ山教会関係が40数人、計80人余りであった。主キリスト・イエスは、事務局、役員の方々の熱い祈りに的確に答えて下さり、きわめて熱心な善い魂の方々が呼び集められ、密度の濃い歴史的な講演会となったと思う。

保坂公平・友の会会長の挨拶のあと、前半は、山口先生が、「北大とクラーク精神の実践」と題して、パワーポイントを用いながら、クラーク精神に基づく札幌農学校・北海道大学の4つの建学理念や「新渡戸カレッジ」などの、北大における大学グローバル化への大胆な取り組みを説明され



北大総長山口佳三先生



水谷幹夫先生



懇談会（2階ギャラリー・オアシスにて）

た。また、最後には、山口先生自身が信仰に入りたいきさつや、お子さんたちの教育上の悩みをきっかけにした水谷先生と恵泉塾との出会いなど、大変率直で個人的な告白的証言をされ、聞く者に強い印象を与えた。

後半は、水谷先生が、「無教会の限界を超えて—小池辰雄から恵泉塾へ—」と題して講演された。前半の山口先生が、「新渡戸稲造の教育魂と北大」に焦点を合わせたのに対して、水谷先生は、内村鑑三の信仰の流れに注目し、小池辰雄先生が内村鑑三の無教会信仰の核心である「十字架信仰」を「聖霊体験」によって突破し、観念信仰から脱出・突破されたと語られた。現在、小池先生の信仰は教会・無教会の流れをこえた「第三のもの」であったと、無教会陣営からも一定の評価が与えられている。

水谷先生は講演後半で、ご自身が若くして教会で「十字架」を学び、また小池先生から「聖霊」を学んだこと。更には余市恵泉塾という生活共同体において、「神の愛」という形での生活実践の中で、（主の）十字架・聖霊の実態がつかめ、人の思いをはるかに超えた「教育と療育」の成果をおさめたと証言された。また最近、余市では「小さな恵泉塾」運動を始めた。現在、水谷先生夫妻が補助教育スタッフ2名とともに4名の塾生を直接に生活指導し（例えば、果物の皮むきなど）、驚くべき成長と変化がみられ、塾生自身が感動している。十字架の捨身の愛に生きる教師の自己犠牲がある所に聖霊が働くので、驚くべき教育力、教育効果が生まれる。水谷先生の実践現場からの御霊にある説得力ある熱弁が参加者に大きな感銘を与えていることがありありと多くの方の表情から感じられた。

講演会のあと、4時半から、4階の「小池辰雄記念図書室」見学希望者の方々10名以上を小池牧子さんが丁寧に案内してくださり、キリスト召団の原点を紹介する素晴らしい機会となった。午後5時から、2階のギャラリー・オアシスで、焙煎珈琲などを飲みながら、20名ほどの講演会出席者（希望者）が講師と交流する懇談会が開かれた。はるばる大阪から来られたFご夫妻、つくば市から来られたO氏を始めとして、山口、水谷両先生への多くの熱心な質問が相次ぎ、まさに教育懇談セミナーとなった。質問に答えられる先生方が、主によって用いられ、燃やされているのを実感できて主催者側としては本当に感激であった。今回の録音CD（関東事務所取り扱い）を一度お聞きになる

ことをお勧めしたい。

最後に、講師の両先生と当日の設営、運営、事前準備に愛労された事務局、役員、オリーブ山教会の皆様深く感謝いたします。

### Ⅲ 友の会会員日より

#### 発達障害学習会の報告

沖縄 名嘉山美智子

去る7月5日（土）より沖縄で発達障害の学習会が始まりました。素晴らしい講師たちに恵まれ、その学びの知識、理解に乏しい私たちにわかりやすく説明してくださいました。

学習会を通して感じたことは、当事者の要求するものと、私たちの思いとは必ずしも一致するとは限らないということでした。むしろ親身になって彼らの声に耳を傾け、生きることの意義と喜びに気づき、希望をもって人生を歩めるように寄り添い、サポートすることの大切さを学びました。しかし、言うは易く行なうは難し。具体的にどのようにすればと悩みます。

第3回、第4回の平岡禎之氏の講演では、妻、長女、次女、長男、次男の家族5人が発達障害で、一般の人の家族の感覚とは、あまりにも開きがあるのです。しかし、このことをマイナスと捉えるのではなく、むしろユーモアをこめて「うちの家族は火星人」と宣言し、プラス思考に切り替えて明るく生活をしていることに感動を覚えました。いつも笑顔が絶えない平岡さんたちの毎日の生活が目に見えるようです。

平岡氏の著書、『うちの火星人—“家族を守るための取扱説明書”』は、難しい専門書よりもユーモアにあふれ、具体的でわかりやすいものです。

さて、私たちも何らかの足りないものを持っているのではないのでしょうか。

生きづらさを覚えた若いころもあり、多くの失敗を繰り返し、恥の上塗りを重ねつつ年を重ねている私も、神様との出会いにより、軌道修正をさせられたりと危うい人生です。私たちの周りにもたくさん超個性的(?)な方たちがいるものの、その方たちを細かく分析すれば何らかの発達障害という名に当てはまるのではないかと思ったりします。しかし障害に名ばかりつけても、しょうがない……。神の目線に立つと、どの人も一級品。イザヤ書43:4「わたしの目にあなたは価高く、貴く」のみ言葉は平岡家の家族の生活ベースであり、私たちの救いです。

11月に行なわれました第5回の学習会は、「さまざまのタイプの子どもの豊かな発達のために」と題して、臨床心理士、柳澤みちるさんの学習を通して私たちが発達障害を学ぶ目的がはっきりしたような気がします。

「この人たちの放つ光を光として受け止める人々の数をこの世に増やし続けること」その人たちを無条件に愛し、気持ちに寄り添い、思いを受け止め、対応を工夫してくれる人との出会いは、その人たちにとっては宝物です。

この世の尺度、価値観、固定観念を修正し、このような



発達障害学びの光景

方たちを与えてくださった神に感謝し、彼らを通して私たち人間は助け合い、補い合い、愛し合って生きていくようにと訓練させられ、学ばせてもらうのです。

歩き始めたばかりの沖縄での発達障害の取り組みは試行錯誤の途上にあります。どの分野にも、病にも、障害にも神様の領域があることを信じ、神様に教え導いていただきながら学んでいきたいと思えます。

## Ⅳ 恵泉塾のお知らせ

### 最近の沖縄恵泉塾

友の会沖縄担当委員 鈴木 秀雄

10月11日(土)～13日(月)の三日間、台風19号が沖縄本島を直撃し、暴風雨が吹き荒れる中にもかかわらずホテルに缶詰めになって、水谷幹夫先生を講師にお迎えして、第15回恵泉沖縄セミナーが開かれました。まるでノアの箱船、ガリラヤ湖上の大嵐でした。

11月8日(土)沖縄恵泉塾おやじの会が開かれました。

余市から川上民生さん、藪裕晃さん、長谷川賢さんをお迎えして5カ月が過ぎ、広大な農地にさまざまな野菜の植え付けが手際よく進められています。

これから冬を迎えますが、温暖な気候の沖縄では野菜の収穫ができます。

ウンボの運転が出来る方のお手伝いが必要ですので、もし手伝っていただける方がいらっしゃいましたら

新里 裕(しんざとゆたか)までご連絡ください。

沖縄恵泉塾事務所連絡先：電話・FAX 0980-44-2585

新里 裕(しんざとゆたか)携帯：090-3793-1077

沖縄恵泉塾代表の大澤憲一先生が、長年勤務してこられたオリブ山病院を退職し、大宜味村(おおぎみそん)に精神科クリニックを建ち上げる準備及び沖縄恵泉塾の施設建設の準備を進めています。

18年前、札幌の高校教師を退職し、余市に入植して恵泉塾を始められた水谷幹夫先生や、牛を使って畑を耕していたエリシャが預言者エリヤに召し出されて、農機具を燃やして退路を断ち、エリヤについて行った(第1列王記19章20～21節)捨て身で生きる姿をここに見ました。

## 関東の恵泉塾若者活性化の会

四街道恵泉塾 大倉重子

10月に入り、秋の装いが深まるなか、先月(9月)は「関東の恵泉塾若者活性化の会」。丹波の宿の新鋭若者二人の今井良君、保坂晋平君が関東へ来てくださり、尊いご奉仕をしてくださいました。

第1部は今井良君による料理。メニューはハンバーグ(チーズハンバーグ、和風ハンバーグ)厚揚げ・ナスの味噌炒め、粉ふき芋、デザートはバナナヨーグルトでした。

料理の方法は「水谷先生に教えられた通りにします」と言って、丁寧に手際よく調理をしたので感心しました。時間通りに料理が出来、参加者17名の美味しい笑顔とお腹もふくらんで大満足でした。

ケーキと人参ご飯、ピザの差し入れもありました。

「お腹もふくらんだところで……」と良君の愛きょうのあるユーモアも飛び出し昼食の進行もして下さり、自己紹介で笑顔のお交わりができました。食後の片付けも皆でして、楽しい繋がりが持てました。

第2部は保坂晋平君による読書会を持ちました。内容は波止場便りNo.27巻頭言、「若者よ、立ち上がれ」から読後、感想の分かち合いをしました。

晋平君の司会で問答、コメントを交えながらの読書会となりました。信仰の精神が人格を成し、生きざまとなることを学びました。

若者の立場から、男性の立場、都賀ビルで活躍している派遣者を目の辺りにして見ている立場からなどの感想があり皆意見を述べていました。

新谷師、藤沢師の配慮、手助けもあり、豊かな読書会でした。このような機会を与えてくださって本当に感謝しています。

私の感じたことは、丹波の若者二人は同じ空気中で、そこには違和感がなく溶け合って、まさに愛し合って一つ、互いに補い合い、お風呂も、寝る時間も一緒、ピッタリくっついていて、なんだか羨ましくなりました。愛し合って一つとはこのような二人なのだと思わせていただきました。

上司やスタッフを尊敬し、きついお叱りも愛してくれているのだとわかるから受け取れると話してくれました。心が生き生きして、やる気が一杯で、張り切って見えました。自分の存在意義をしっかり掴んで霊に燃えていました。

刺激されて四街道恵泉塾の住人も感化されて、二人の初々しい空気の後を今もって味わっております。

また機会があればと心から願っています。

## 開拓者魂で日本の青春のふるさとを回復する——2014余市恵泉塾「若者の集い」報告

余市恵泉塾 長野初美

今年の「若者の集い」は「開拓者魂」をテーマとした。だいたい12名くらいの集いになり、十二弟子(?)のようであった。学びたい志ある人なら年齢不問(!)としたら、20代から50代まで集まり、テキストやDVDを使ったり、記念館を訪れたり、生の講話を聴いたりして、人物との“真の出会い”を目指した。

まずは、水谷先生が内村鑑三の『代表的日本人』を一緒に読んで、5人の登場人物に出会わせてくださった。内村を通して描かれた西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人は、「後世への最大遺物」として、五人五色の「高尚なる勇ましい生涯」を生き抜いた。それを「内村鑑三」が描き、「水谷幹夫」が講じると、言葉を通して実にイキイキと人物に出会えた、という実感を持つから不思議だ。

西郷隆盛については、「明治維新が実現されるには、藤田東湖に宿った種子が、弟子である西郷隆盛に移植されなくてはならなかった」（若松英輔『岩波ブックレット／内村鑑三を読む』より）ことを学んだが、その西郷隆盛の弟子である、黒田清隆が活かして用いた人こそ W.S. クラークであった。クラークの蒔いた種子、フロンティア・スピリットはわずか8ヶ月で日本という土壤に稀なる花を咲かせた。人格教育は聖書で！と主張してやまなかったクラークについに屈した黒田清隆の英断が、札幌農学校という「日本の青春のふるさと」を生み、内村鑑三や新渡戸稲造を育てた。そして、この内村鑑三の信仰をルーツとする群れの働きが「恵泉塾」を生んだ。

そう考えると、今、若者たちが学んでいるのは、恵泉塾に流れるフロンティア・スピリットであると言わざるを得ない。聖書を土台に、愛し合うことを見よう見真似でやってみる塾生活の中で、聖書以外にもたくさんの学ぶべき人物がいることを知り、彼らの姿勢が積極的になっていった。

余市には日本のウイスキーの父竹鶴政孝がいる。山形にキリスト教独立学園を支えた100歳の榎本うめ子先生がいる。クラークが影響を受けたピューリタン革命の父クロムウェルとはいかなる人物か。吉田松陰についてもっと調べて発表したい。恵泉塾の応援団で地震学者、発明家、編集者、営業マン、薬理学者、オペラの開拓者に来ていただいて話を聴こう。「北海道開拓の村」にも足を伸ばして開拓者魂に触れてみたい。その意欲がずっとこの集いを支えていた。

何より嬉しかったのは、もう一つ“自主的若者の集い”が生まれたこと。除雪、窓拭き、草刈り、薪割りなどの労働奉仕に汗を流し、夏の聖会ラジオ体操、海水浴、スポーツ大会、スライドショーを、若者主導型に塗り替えた。これが今年最大の収穫だ。道なき道に行く我らの大先輩の後を追って、小さな私たちにも開拓者魂を与えてください、と祈る日々である。



余市若者の集い

## V ヴィタポートからのお知らせ

### 2014年第6回大連日本商品展示会 (10月16～17日) 報告

大連 太田繁利

旅順貿易促進会の張傑さんは、水谷先生の以前からの友人です。我々太田夫婦が大連に着くと、その彼女から「今



大連の日本商品展示会

度展示会があるので出展する旅順ブースを手伝ってほしい」とお話があり、私は最初「展示スペースの飾り付けを手伝うのかな」と早合点しましたが、詳細を聞くと、旅順ブース割当てから大きなスペースを融通するので、我々ヴィタポート自身の展示をしてほしいとのことで、次第に事の大きさに気付き「これは大変だ!」となりました。気付くとヴィタポート自身を宣伝する場が与えられていました。

我々は一からの準備を始めました。ある日水谷先生と定時連絡を取っている時、我々は「展示会当日の人員不足」を訴えましたが、先生は「人は送らない。君たちで頑張れ!」と一喝。そして「この話を依頼してきた張傑さんの面目を一番に考えるべきだ。何をしている、大型家具を送るぞ。」その通りです。私は説明パネルなど展示物制作や備品の選定、呉丹は張傑さんや関連部署との連絡や段取り、ノア家具の中国への輸入手配などに追われる毎日で、展示会に向かって緊迫の展開が続いたのです。

こうして中国大連でヴィタポートの産声が上がりました。振り返ると、各地恵泉塾の皆さんの絶大な応援があり、



ノア家具の製品に関心が集まる



ビューソーイングの製品にお客が並んだ

そして見えざる不可思議な手配をなされる、あの神の姿が透けて見えます。人々が、我々ウイタポートの多様な商品や事業の間口から我々を知り、次々に問うてきたのです。「伝播生命 一切皆為彼此相愛（命を運ぶ。すべては愛し合う世界造りのために）」この大連でも、神の仕事が始まりました。

## いわきマリアの今

いわき 大月亜矢子

平成 26 年 11 月 1 日でいわきマリアは 1 周年を迎えました。礼拝後の愛餐でいわき集会の方たちと、この一年を振り返るひとときを持ちました。震災後の影響でアパートが見つからないこともあり、清野喜久美さんと柳澤エイ子さんは寝袋で訪問看護マリアの開設に臨みました。捨て身のマリア創立です。看護するだけの訪問に留まらず、いわき集会の魂の救いという任務があったことをすぐに実感する出来事がありました。その後集会の方たちの苦しみに少しでも寄り添えることが出来ればと、悩みも共有し、家に向くなど試行錯誤の状態でした。

「マリアの仕事の半分は自分たちの家庭のことだった」と話す W さん。「我が家も」という Y さん。マリアとしても集会の人たちの協力なしでは立ちいかないこともあり、持ちつ持たれつ一つの共同体であったことを思わされます。

また、10 月 31 日には「第 2 回旅支度」を実施しました。集会の方たちの親や親戚の方が主ですが、スタッフを含め 15 名の参加者がありました。先生のテープに、初めて来られた方も真剣に聞き入っていました。1 年間ある出来事



いわきの恵泉マリアの看板

で苦しんでいたご婦人が、事態は変わらないのですが、その問題から解放され、表情や言動がすっかり変わりました。穏やかで明るい様子になられ、周囲は感動しています。愛し合う中に神様は働いていることを見せられます。

訪問看護としては後期目標の達成と共に内部充実を図り、集会の仲間とともに外部に愛の輪を広げたいと願っています。

## 「どんぐり工作展」

都賀 ギャラリー オアシス

千葉・都賀のギャラリー オアシスでは、12 月のイベントとして「どんぐり工作展」を行ないます。

下は 12 月 5 日（金）と 6 日（土）のご案内です。今、店に飾ってある数々のどんぐりの作品は、見ていると思わず笑みがこぼれます。ご都合のつく方はぜひご参加ください。

ギャラリーオアシス企画展 千葉のどんぐり仲間が大集合！！

### どんぐり工作展

2014.12.1(月) - 12.27(土)  
AM10:30 - PM7:00 (最終日 PM5:00 まで)

どんぐり工作展 協力者様 (あいうえお順) 素敵な作品&グッズのご提供&教室講師有難うございます！！

井上 延子 小林 幸子 船橋 史 白井 ひろみ 瀬古 真 鈴木 直 鈴木 康博 高橋 理 船波 博明 関谷 三佐子 松永 健子  
広 聖子 福島 雅枝 吉山 典子 坂辺 真代子

12/5(金) 14:00-16:00  
『フータ君サント&トナカイづくり』  
参加費 1,000 円 飲み物おやつ付 (要予約)

12/6(土) 10:30-12:00  
『どんぐり動物(5歳以上対象)』『どんぐり段ボールリース(幼児から対象)』 (参加費各 300 円)

12/6(土) 13:00-14:30  
『どんぐりの絵本読み聞かせ & どんぐり箸づくり』 (参加費無料)

12/20(土) 14:00-16:00  
『篠笛コンサート&交流会！』  
参加費 1,000 円 飲み物おやつ付 (要予約)

詳しくは、店頭やお電話にてお問い合わせ下さい！

ギャラリーオアシス  
☎043-309-8353  
〒264-0025 千葉市若葉区都賀 3-24-8 都賀プラザビル 2F

都賀駅 都賀駅西口 都賀駅南口 都賀駅東口  
都賀駅西口 都賀駅南口 都賀駅東口  
都賀駅西口 都賀駅南口 都賀駅東口

どんぐり工作展のチラシ (上が表)

## Ⅵ お助け隊

### 余市恵泉塾への物資援助

恵泉塾友の会 事務局

冬の間の野菜不足を解消すべく、今回友の会では我孫子の野菜を余市恵泉塾へ送ることにしました。まず第一回として我孫子の長ネギ、かぼちゃ、そして別便にて魚の缶詰を送りました。これからサトイモ、じゃがいもが収穫されるそうですのでこれも送る予定です。

楽しみにお待ちしております。



余市へ送られた我孫子の野菜

## Ⅶ 若者の集い

### 若者の集い IN 都賀

秋も深まった11月16日(日)礼拝後、第一回「パン屑の会」が都賀で行なわれました。

身体を動かすことと聖書の学びをしていくことに主眼を置いています。水谷先生が言ってくださった、「若者に大切なこと……生きる力=問題解決の力=人間関係づくり=愛する力=聖書に向き合う。」ここから三反崎あゆみさんがプログラムを考えてくれました。

この日はまず柔軟体操をして、長縄飛びをして日頃の運動不足を解消しました。皆学生時代に戻って笑顔で縄跳びを楽しみました。その後、創世記1章を読んで皆で分かち合いをしました。一人ひとりの分かち合いの中で、深い洞察を含んでいるものあり、つまずいてしまっている疑問点、今の自分の生活に照らし合わせてとくさまざまな意見が出、それについても皆からいろんな意見が出されました。まだ不定期開催ですが、都賀の若者たちの霊的養いとなりますように。



縄跳びに興じる若者の集い IN 都賀

### 水谷先生による

### 第15回 若人の読書会

日時：2014年11月22日(日)

16:30～18:00

《テキスト》

新渡戸稲造著『武士道』第九章 忠義

### 水谷幹夫先生

2014年11月～2015年1月

### 伝道旅行日程

#### 2014年11月

- 9日(日) オリーブ山教会主日礼拝 (都賀)  
教育講演会 (都賀)
- 18日(火)～20日(木) 丹波若者セミナー No.2 (丹波)  
「社会で遅く生き抜くクリスチャン」
- 21日(金) 援助と教育 (都賀)  
親父の会 (都賀)
- 22日(土) 小池辰雄を読む会 (都賀)  
日中友好ランチコンサート (都賀)  
メッセージトレーニング (都賀)  
若人の読書会 (都賀)
- 23日(日) オリーブ山教会主日礼拝 (都賀)  
第五回 旅支度 (都賀)
- 24日(月) 伝道集会 「永遠に残る生き方 — 人は愛する時美しい」

#### 2014年12月

- 12日(金) 援助と教育 (都賀)  
親父の会 (都賀)
- 13日(土) 小池辰雄を読む会 (都賀)  
日中友好クリスマスランチコンサート (都賀)
- 14日(日) 関東合同クリスマス祝会 (都賀)
- 16日(火)～18日(木) 丹波セミナー 上級 No.3 (読み切り方式)
- 19日(金) 岡山メッセージ&ディナー (レストラングレース)

#### 2015年1月

- 9日(金) 援助と教育 (都賀)
- 10日(土) 小池辰雄を読む会 (都賀)  
日中友好ランチコンサート (都賀)
- 11日(日) オリーブ山教会主日礼拝 (都賀)
- 12日(月) 伝道集会 (都賀)
- 13日(火)～15日(木) 丹波塾 創世記 (丹波)